

平成16年11月15日

特定都市鉄道整備事業実施状況

東京急行電鉄株式会社

東京急行電鉄（本社：東京都渋谷区、社長：上條 清文）の特定都市鉄道整備積立金につきまして、平成16年度上期の積立金額及び取崩額が次のとおり確定いたしましたので、お知らせいたします。

当社では、現在、田園都市線の抜本的輸送力増強策として「大井町線大井町～二子玉川間改良工事および田園都市線二子玉川～溝の口間複々線化工事」を進めております。同工事は特定都市鉄道整備積立金制度に基づき、平成7年9月の運賃改定以降、半期ごとに鉄道旅客運送収入の1%を積み立て、この積立金を工事費の一部に充当してまいりましたが、工事のより一層の促進を図るため、平成9年12月の運賃改定以降積立率を2%に変更しております。なお、田園都市線の最混雑区間である池尻大橋～渋谷間の一層の混雑緩和を目的に、平成12年11月17日大井町線改良工事区間を、当初の「大岡山～二子玉川間（現二子玉川）」から「大井町～二子玉川間」に変更し、大井町～二子玉川間を急行運転可能な施設に改良するとともに、都心方向への新ルートを整備する事業計画への変更を行いました。

また、東横線の抜本的な輸送力増強を図るため「目蒲線（現目黒線）目黒～多摩川園（現多摩川）間改良工事および東横線多摩川園～日吉間複々線化工事」を進めております。同工事は特定都市鉄道整備積立金制度に基づき、昭和63年5月の運賃改定以降、半期ごとに鉄道旅客運送収入の5%を、さらに同制度の改正に伴い平成7年9月の運賃改定以降は9%をそれぞれ積み立て、この積立金を工事費の一部に充当することにより工事の促進を図ってまいりましたが、平成9年12月に認定期限を迎えたため積み立てを終了し、平成10年度より取り崩しを開始いたしました。平成12年9月26日より目黒駅を經由して当社線と営団（現東京地下鉄）南北線および都営三田線、平成13年3月28日より営団（現東京地下鉄）南北線を經由して埼玉高速鉄道線と相互直通運転を開始し、新しい鉄道ネットワークが誕生いたしました。これに先立ち、平成12年8月6日より目黒～蒲田間で運行していた「目蒲線」を目黒～武蔵小杉間と多摩川～蒲田間にそれぞれ変更して「目黒線」、「東急多摩川線」といたしました。

このたび、平成16年度上期決算による積立金額及び取崩額が確定いたしましたので、工事の進捗状況とあわせてお知らせいたします。

記

1. 積立金額

《大井町線改良工事および田園都市線複々線化工事》

平成15年度までの積立金額	16,647	百万円
平成16年度 上期積立金額	1,193	百万円
累積積立金額	17,840	百万円

なお、平成16年度上期の積立金は特定都市鉄道整備促進特別措置法に基づき、平成16年11月29日(月)に指定法人である(社)日本民営鉄道協会に積み立て、今後、工事の進捗にあわせて工事費に充当する計画です。

2. 取崩額

《目蒲線改良工事および東横線複々線化工事》

平成9年度までの積立金額	53,072	百万円
平成15年度までの取崩額	31,843	百万円
平成16年度 上期取崩額	2,654	百万円
積立金額残高	18,575	百万円

3. 工事の進捗状況

《大井町線改良工事および田園都市線複々線化工事》

・二子玉川駅改良工事

平成11年9月に田園都市線と大井町線の入れ替え工事が完了し、終点方引上線の供用を開始し、同一方向同一ホーム化を図りました。平成12年9月には、駅舎工事が完成いたしました。

・二子玉川～溝の口間線増工事

平成14年1月より工事着手し、二子新地駅部では高架橋およびホームの構築工事を、二子新地～溝の口間では拡幅高架橋の構築および盛土の築造工事を行っております。今後も二子橋梁部及び二子新地～溝の口間下り線側高架橋の構築工事を進めてまいります。

- ・溝の口駅改良工事

平成8年6月より工事着手し、駅始点方の下り線側高架橋構築工事を進めております。今後も用地買収の進捗に合わせ、順次高架橋拡幅工事を進めてまいります。

- ・旗の台駅改良工事

平成14年1月より工事着手し、仮ホーム化等の仮設工事が完了し、下り線側の高架橋構築工事を行っております。

- ・大井町駅改良工事

平成14年11月より工事着手し、ホーム拡幅延伸のための、上り線側高架橋構築工事を行っております。今後はホーム、上家の構築工事を進めてまいります。

- ・等々力駅改良工事

平成15年6月より調査工事を行っております。また、学識経験者を中心とした「等々力駅地下化工事技術検討委員会」を設置し、地下化工事による等々力溪谷等への影響の調査検討を行っております。

《目蒲線改良工事および東横線複々線化工事》

- ・目黒駅改良工事

地下3階(コンコース階)、地下4階(ホーム階)の躯体が完成後、駅施設等の建築、電気関係および軌道施設の工事を行い、平成9年7月に目黒駅の地下化切替が完了しました。地下1階、地下2階の躯体工事は平成10年9月に完成いたしました。

- ・目黒～洗足間立体交差工事

不動前駅は平成11年10月に直上高架切替を行い、元の位置に高架の仮設駅となりました。これにより目黒1号踏切が立体交差化されるなど2箇所の踏切が解消され、平成15年1月には高架橋区間が竣工し、駅舎改良工事が完了いたしました。

武蔵小山駅は橋上仮駅舎後、工事桁下の掘削工事等を終了し、現在は躯体の構築工事を行っております。西小山駅は仮ホーム化後、ホーム下の掘削工事等を終了し、現在は躯体の構築工事を行っております。不動前～洗足の各駅中間部では線路を移設し、土留止水壁を打設後、一部を除き軌道仮受桁架設工事が終了し、掘削工事を行っております。また、掘削の完了した部分においては躯体の構築工事等を行っております。

- ・洗足駅付近施設改良工事

洗足駅は平成12年12月にホーム延伸(6両対応)工事を完了いたしました。

- ・大岡山駅改良工事

平成9年6月に目蒲線上り線を切り替え、4線全ての地下化が完了しました。駅地上施設は平成10年12月に完成いたしました。

- ・洗足～奥沢間施設改良工事

平成10年8月に電気関連工事、平成11年9月に奥沢駅改良工事に着手し、平成12年8月にホーム延伸（6両対応）工事を完了いたしました。

- ・多摩川橋梁～武蔵小杉間線増工事

平成9年8月に多摩川～武蔵小杉間の東横線上り線を、平成11年5月に下り線をそれぞれ本設高架橋へ切り替えました。また、平成11年11月に武蔵小杉終点方の東横線上り線を切り替え、目黒線折り返し施設が完成いたしました。

- ・武蔵小杉～日吉間線増工事

平成12年4月に着手し、武蔵小杉～元住吉間で高架橋構築工事を、元住吉駅部では線路を移設し高架橋基礎杭工事を、元住吉車庫部では新元住吉駅構築のための鉄骨架設を行っております。

また、鉄道と交差する、都市計画道路尻手黒川線部においては、既設道路橋を撤去するための仮設道路工事を実施しており、尻手黒川線部から日吉間については、盛土拡幅のための補強盛土工事を行っております。

- ・ATC化工事

目黒線のATC新設工事は、平成12年8月に完了いたしました。

以上